



建設技術審査証明書

建技審証第0218号

技術名称 施工性に優れた埋設型枠
「残存型枠プロテロックピアスワンダー」

(開発の趣旨)

コンクリート構造物の施工において現場作業性の向上や廃棄物の減少を目指して、埋設型枠が多方面で使用されている。現場打ちコンクリートの確実な充填が重要課題である。「残存型枠プロテロックピアスワンダー」は、型枠全面に小孔を配置して、高い充填性を確保している。

さらに、エポキシ樹脂二重電着塗装（Wカチオン電着塗装）で防食した鋼製の補強材や組立用専用金具を使用し、施工性と耐久性に優れた埋設型枠を提供することを趣旨として開発した。

(開発目標)

以下のことを開発目標とする。

- (1) 施工性
現場において、組立用専用金具を使用することにより容易に組立作業を実施できること。
- (2) 強度特性
現場打ちコンクリート振動締固めの打設高さ1.0mの側圧に耐える強度を有していること。
- (3) 一体性
コンクリート構造部材の圧縮部の断面として有効に適用でき、現場打ちコンクリートと一体化すること。
- (4) 耐衝撃性
落石、土石流等の衝撃を受けても現場打ちコンクリートと剥離しないこと。
- (5) 耐久性
型枠は耐凍結融解性を有し、その補強材も耐塩水性に優れていること。

一般財団法人土木研究センターの建設技術審査証明事業実施要領に基づき、依頼のあった標記の技術について下記のとおり証明する。

平成15年2月5日

平成17年3月31日 内容変更

平成22年3月31日 内容変更・更新

平成27年3月31日 内容変更・更新

建設技術審査証明事業実施機関

一般財団法人

理事長



記

1. 審査証明の結果

「残存型枠プロテロックピアスワンダー」は、以下の性能を有していることが確認された。

- (1) 施工性
施工性調査によれば、組立用専用金具を使用することにより、容易に組立作業を実施できることが確認された。
- (2) 強度特性
パネル曲げ試験、組立用専用金具引張試験、現場打ちコンクリート側圧耐力確認試験によれば、現場打ちコンクリート振動締固めの打設高さ1.0mの側圧に耐える強度を有していることが確認された。
- (3) 一体性
梁曲げ試験、充填確認試験によれば、コンクリート構造部材の圧縮部の断面として有効に適用でき、現場打ちコンクリートと一体化することが確認された。
- (4) 耐衝撃性
衝撃試験によれば、落石、土石流等の衝撃を受けても現場打ちコンクリートと剥離しないことが確認された。
- (5) 耐久性
凍結融解試験によれば、型枠は耐凍結融解性を有し、塩水噴霧試験によれば、補強材は耐塩水性に優れていることが確認された。

2. 審査証明の前提

- (1) 本審査証明は、依頼者からの試験データ等の資料を基に審査し、確認したものである。
- (2) 「残存型枠プロテロックピアスワンダー」の製造は、適正な品質管理のもとで行われるものとする。
- (3) 「残存型枠プロテロックピアスワンダー」の設計・施工は、適正な管理のもとで行われるものとする。

3. 審査証明の範囲

本審査証明の範囲は、「残存型枠プロテロックピアスワンダー」を埋設型枠として使用する場合とする。審査証明の範囲は、型枠パネルを組立用専用金具により組み立てた状態までとし、これらを支持する鉄筋およびアンカーなどは、審査証明の範囲から除く。

4. 留意事項

- (1) 圧縮部の断面として有効に適用できるのは、現場打ちコンクリートの設計基準強度がパネルの設計基準強度以下の場合とする。
- (2) ワンダータイプは、型枠勾配6分（1：0.6）より急勾配で使用する。それより緩勾配で使用する場合は、充填性を別途検討するものとする。

5. 審査証明の詳細

建設技術審査証明報告書

6. 審査証明の有効期限

平成32年3月30日

7. 審査証明の依頼者

タカムラ総業株式会社

所在地：静岡県御殿場市板妻21番地